

わが街 Watching My Town Watching

川面を照らす 田川の冬の風物詩

彦山川河川敷に巨大イルミネーションが登場

12月23日～25日、「川面に映るイルミネーションの祭典」が催され、彦山川番田ごうら河川敷（新橋～番田橋間）に、高さ最大約55mの巨大イルミネーション5基などの電飾が登場し、訪れた人たちを楽しませました。

これは、彦山川の現状を理解してもらい、河川の美化を啓発しようと、彦山川を愛するボランティア団体などで作る実行委員会（水岡俊介委員長）が主催したもので、今回で6回目。会場では、クレーン車からつり下げられたツリー型イルミネーションのほか、橋や土手にも電飾が施され、40万個をはるかに超える発光ダイオード（LED）が放つ赤や白、紫などの明かりが、冬の夜空を彩りました。



▲期間中は大勢の人が会場を訪れ、光の競演を楽しみました



▲福智町出身の石谷聡選手(中央)も大活躍!!

迫力あるプロのプレーを目の前で

プロバスケットボールの公式戦が行われる

12月24日・25日、1月7日・8日、市総合体育館で、福岡県を本拠地として活動する「ライジングゼファーフクオカ」主催のジャパン・バスケットボールリーグ（B3リーグ）公式戦が行われ、延べ約3,300人が試合を観戦しました。

12月は、B3リーグ最大のライバルである「金沢武士団」と対戦し、2試合ともに惜しくも敗戦しましたが、1月の「大塚商会アルファーズ」戦では見事2連勝。いずれの試合でも、プロリーグならではの高度なプレーが続き、その見事なボールさばきに、大きな歓声や拍手が送られました。

なお、3月18日（土）・19日（日）にも、同体育館で公式戦が行われる予定です。

福岡県選抜チームが軟式野球アジア選手権連覇

田川中学校の3選手が活躍

1月16日、田川中学校野球部の平原颯真さんと田中歩汰さん（いずれも3年）と金光綾音さん（2年）が市役所を訪れ、所属した福岡県選抜チームが、昨年11月21日～24日に台湾で行われた「第5回U-15（15歳以下）軟式野球アジア選手権大会」での優勝を、二場公人市長に報告しました。

大会では、北海道、東北の選抜2チームと台湾の4チームと対戦し、見事6戦全勝で優勝。試合では3人ともに安打を放つなど勝利に貢献しました。高校進学後も野球を続けるという平原さんと田中さんは「経験を生かし練習に励む」、「1年からレギュラーを目指す」、金光さんは「学んだことを生かし田川中野球部を引っ張っていく」と抱負を語りました。



▲メダルを胸に笑顔の(左から)平原さん、金光さん、田中さん